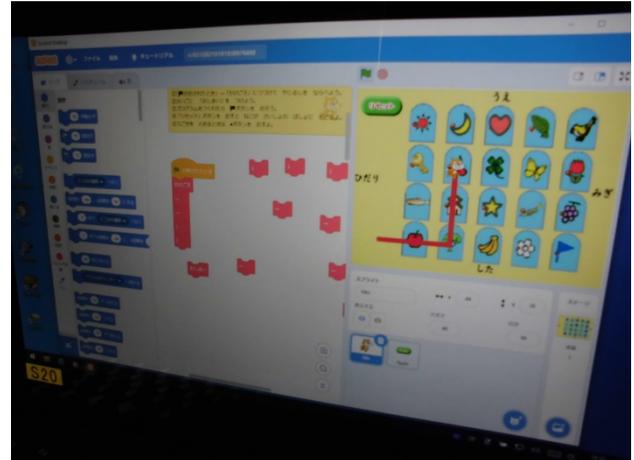


1 学年 算数科「もののいち」第2時 タブレット型 PC (2人で1台)



単元のめあて

基準となるものを決めて、前後、上下、左右などの用語を用いて、ものの位置の表し方を考えることができるようにする。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ① 教科書の絵を見て、もの位置の表し方を考えたり、ものの位置を表したりする。
- ② 二次元の平面において、上下、左右の矢印を用いて、ものの位置を表すことができる。

☆タブレット活用☆

- ・プログラミングソフトの「スクラッチ」を活用し、宝探しクイズに取り組む。
- ・2人で1台のタブレット型 PC を使用し、オリジナルの宝探しクイズを作る。
- ・それぞれが作ったクイズを全体で交流する。

☆タブレット活用のメリット☆

- ・早くクイズが作れた子は、どんどん新しいクイズを作ることができる。
- ・個人で作ったクイズを提出させることで、全体でクイズの問題を共有することができる。
- ・タブレット型 PC を使うことで、マウス操作なしで矢印のブロックを動かすことができる。
→1年生の児童にとっては、操作がスムーズに行えて有効だった。